

1986年10月号

1986年10月5日発行(毎月1回5日発行)

No.119

あんふあんて

発行人/ 発行所/あんふあんて出版部
定価/400円 振替口座/ あんふあんての会 電話/

農薬 食品添加物 工場廃棄物 原発

じつさいの我々の身体への恐怖だけでなく
個人を一個の人格として認めようとしな
経済原理優先の風土と教育による心の痛み

ボツカリ穴があいたままゴム風船のように
膨れあがっていくだけの日本

全体主義差別国家の既成概念と現実にとり
まされて流されるのか
だがその怪物はあくまでも強大である

しかし悲観ばかりはしてられない
亡命することも望まない
美しい日本でのんびりと暮らしたいのだ

自分自身と子供たちのために
みずからの内とその地域から一歩ずつ

詩 あんふあんて会員の夫
イラスト 青野



特集

地域って

なに？

一部の期待を担って堂々初参加しました京都グループです。『めだか』のメンバーは長岡京市に三名と京都市内から電車を通う二名ですが、本当の家の近所ではなかなか共同保育の輪を広げることができません。その辺の悩みから、自治会のこと、地域の中での共同保育のあり方について話し合ってみました。

へ地域に開かれた場を作るって：～

A この前、私達の入っている共同購入の会とか、「めだか」やらが一緒に青空市をしたでしょう。

B マンションの敷地内でやるっていうので、ずい分もめたね。

A 特定の所に貸したらあとでどんな団体が入ってくるかわからないとか：～

C 過剰防衛とちがう？

B 共同購入の会が左寄りと思われていて、

そこと関係のあるマンションだと思われたら困るっていうのもあったよ。
A 反原発の紙芝居しようって言うのも、そういう思想性のあるのはダメだって、すごく反対されたの。
D えーっ、反原発がどうして「思想性」なの？
A とにかく、そういうのはいりません、っていう感じなの。
E だけど、それで子供のために安全な食べ物求めるのはいって言うんでしょ。
B だから地域で子供たちがイキイキできる場を作ろうなんて毛頭考えなくて、自分の子供さえ安全で健康であればいい、みたいな……。

C 今は安全な食べ物さえ食べていけば安全で幸せに生きられる、っていう時代でも社会でもないのね。チェルノブイリが一回起こればそんなものみんなバーになっちゃうのね……。

E 地域で開かれた場所をつくるっていうのは、難しいことなのね。

A たまたま、そのマンションにはがんばっている会員の人がいて、青空市はできたけど。

B そういえば、彼女達は管理組合の規約をつくる時に「他人に迷惑をかける行為」という部分にすごく反対したけど、通ってしまったんだって。

C なんて反対したん？

B だって「迷惑」っていう言葉の解釈がどこまで広がるかわからないでしょ。

C そうか！

B 青空市も迷惑だと受け取られたらできなかったし。
D でも、私なんか「そうだ、迷惑かけられたら困る」って思っただけで「解釈の広がり」なんて考えられへんわ。
B そういうセンスはないと。
C ないわね。(笑)
A センスのない人の場合、ある人と友達になつておかしかな。(笑)
B でも、確かにそういう横のつながりで、情報を得ていくのは必要だと思うよ。ネットワークをつくるというのか。

へ浮くのはこわい！

A でも、マンションでがんばった人みたいに、一人、みんなと違うことするのって勇氣がいるじゃない？

C 日本はさ、農耕社会で昔から隣の人と同じ時に同じことしないと食べていけないかつたもんね。それがずーっと今に続いているのかな。

近 異質なもの認めないっていう風土か。

学校でのいじめも皆どこか違う子が狙われるっていうし。その学校での教育はとにかく皆と同じっていうか協調性ばかり教えこまれるみたいで……。

A そういう中で育って、疑問を感じなくて自治会なんかでも、さあ、皆と一緒にするんだっていつて日の丸掲揚したりしてしまふんじゃない？

C おっと、ここで突然、日の丸？

A だって、今京都は、日の丸、君が代問題がすごいんだもん。

D B 遷都千二百年とかでね。
そう言えば新聞に、日の丸を掲揚している学校の数とかが都道府県別に出ていたね。

A そうそう。沖繩と京都が少なかった。

B あの調査も、遷都千二百年に向けて京都をターゲットにするための材料だったんじゃない？

C なにせ今、京都は目玉らしいから。日本学のセンターを作るとかで、えっと思うような学者まで、そこに名前を連ねているんだって。

C へえーっ。私らすごい所にいるんや。案外、中にいるとマヒしてしまつて気付かないということもあるね。

D そうやね。日の丸のことなんか、何か隣のおっちゃんに言われると、しゃーないな〜ってなったりして。

C やつと私が、何かおかしいな〜と感じた頃は遅かったとか。わー、こわ。

A 隣近所とか、自治会とかで浮くのはこわいと思ってるうちに……。

B この前、読んだけど『王国の妻たち』もこわかったね。

A あー、社宅の話ね。社宅の中で、幼児教室をやつたら、勤務課長がつぶしに来たりとか、生協活動もあかんとか。とにかく、妻は家庭でおとなしく「統後の支えでいなさい」って感じね。

D あれは、社宅だから明からさまだけど、社宅やなくても、何かするっていうのは、やりにくいでしょ。

C 私らだって、結局すぐ近くには共同保育の仲間が見つからなかったもんね。そんなに、大したことやつてるわけじゃないのに

ね。

B 京都でね、マンションの自分の部屋を、文庫にしてる人がいてね、それを始めた頃校区の小学校の校長がわざわざやつてきて自治会の承認は得たのやつて聞くんだった。

C 何か、大らかじゃないのよ。

B 色々、横やりが入って、それを押しのけてやつても、やつぱり地元ではなかなか、面白くはならないらしいよ。

C 面白くはならないらしいよ。だから彼女は地元以外の所で、面白いことをやつて、その情報を地元で流すパイプとして文庫を続けてるんだって。

へ楽しくしたかに！

C 全く、浮いてしまうというの、やつぱりまずいもんね。一人じゃ何にもできないし。

B そこをいかに、したたかにやつていくかが、むずかしいよね。

C でも、「めだか」みたいに、すぐ近所つてわけでもないけど、地域につながりがあるのは心強いよね。

E 我が家のあたりは、自治会はないけど、ウチのお父ちゃん、何かつながりが欲しいって、地区のソフトボール大会とかに出でキャッチャーしたの。そしたら、この前、ピッチャーした人と会ったんだって。で、挨拶したのにすごく冷たかったって嘆いてた。

D 男の人って地域に興味ないんじゃない。

E で、お父ちゃん、つながりを持ちたいけど、自治会とは何か違う。やつぱり「めだか」や。「めだか」のつながりを大事に

したいってこの頃盛んに言ってるよ。

D Eさんのお父ちゃんは、時々保父としてがんばってるもんね。

B 私達は、割にこの地域の色んなグループと、つながりがあるでしょ。そういうのを大事にしていけば、保守的な町だけど、何か変わっていくかもしれないよ。

C でも、どんな集まりにいつても、「金太郎あめ」よ。いつも同じ顔ぶれで。

A そうそう。公民館保育の話し合いの次の日に、「沖繩戦」の映画会の準備委員会に行つたら、全く同じだった。

B 京都は、一部にあの上野千鶴子さんのような、女性学の先端を行く人がいるかと思えば、テコでも動かないような保守的な人達もいるし、差が大きいみたいね。

D 私達のような中間層が少ないのかな。

B チンタラでも、楽しくやつてれば自然と広がっていくかもね。

C 私も、「めだか」に入つて、女の問題考えたり、地域でいろんな活動をしている人を知つたりして、自分自身変わったと思うわ。

A 地域を変えるっていうのも、結局個人個人が変わっていくことから始まるんだったら、共同保育もそういう力を充分持っているんじゃない？

B 自治会とか、婦人会とかで、地域をまとめるんじゃない？

A グループとかがポコポコあつて、お互いに有機的につながり合えたら、地域つてのも面白くなつていくだろうね。

B ミニコミを出そうと言ってるし、楽しみながらやつていこう。



イラスト 吉岡美佐子

これから

今から思えばあの頃はまるで背中を針でつつかれ、前へ前へと進むことを、余儀なくされていたような日々でした。「早く御飯、食べて！」「早く服を着て！」「一才と三才の子供を保育所へ連れていく朝のすさまじさ。仕事が終わればミニバイクを飛ばして暗くなりかけている保育所の門をくぐる。保育室にポツンと残っている我が子を見て、スーパードラッグに入りパッパッと買い物をします。家に帰れば荷物を持って片付けのめんどくさく洗濯と夕食の用意。「さあ御飯よ」「サッサッとお風呂に入りなさい」「子供を寝かしつけるとホッと一息つく。地域で子供を育てるなんてとんでもない。子供はいえれば保育所と家の往復だけ。何が地域ですか？子供が知っている世界は動物園と変わらぬ金網で囲まれた小さな保育所と更にもっと狭い我が家だけです。と苛立たしくなるわ。保育所は老人ホームなどと同じ施設なのです。地域からおしやられてしまった。

私は三人目の子供の誕生から家にいます。スーパードラッグにいる時間やのんびり歩く時間がとと増えました。小さなあぜ道や石仏や小川をみつけました。でもそれと今までの感じなかつた。窮屈さ。もいっぱいみつけてしまったのです。子供が親の管理を離れて自由に遊べる所等無いのです。公園も例外ではありませんが。ウロウロさせると大きい子供のおじやまになると。バスが電車の段差や料金も払にくいのです。のそのそしていると。他の人の迷惑。子供が所構わず行動すれば。親の

注意が足りない」と、忠告されます。自分の家の中でさえ隣人には「生活騒音」とやらでイヤミを言われます。

どんな時どんな場所でも体から溢れるエネルギーのままに動きたがる子供達。私達はそういう子供達や老人、障害を持つ人達を一緒に集めて能率だけを求めてきたものだから、その結果、地域社会を失い自然環境をすてきたのです。障害を持つ人や老人にはもつと暮らしにくさが見えてくるのでしよう。私もいつか老人になります。そして障害をもつ可能性だってあります。お国のために行政がセッとした地域ではなく一人一人のつながりのなかで作られる地域を考えること。そして各々の生活をスピードダウンして余分な飾り物を捨てていく作業をこれからしていきたいものです。

まず、地域を知ることから 栃木県

主人の転勤で再びこの地に来て約一年。その前は足立区に二年いたのだからいざでもどりが、一日中家に閉じこもり、冬眠生活を送っていた三年前と違って、子供がまわりの人とのつながりを持たせてくれた。

しかし、空気のおいしいこの地で、山を見ながら、田や畑を見ながら、どろんこ遊びに夢中になっている子供の姿を想像していた私にとつて、あまりに遠いすぎる現実にはショックは大きかった。

というのも、家のまわりに土がない。公園は自転車でも十五分。近所で、と思っても、せいぜいスーパードラッグの中でお散歩。その上、寒い

時は子供の姿すら見えないときている。だからといって、子供が少なくなかろうと、健康などについて、どこからわいてきたかと思う程、ちびっこギャングどもが集まってくる。保育所に預けられていたり、家の中に閉じこもっていたり、子供も活動範囲が狭いのである。

また、同じマンションの住人の中にも、同じく小さい子供がいる家庭も多いが、つきあっているようで、とても預け合えるのだから、つきあいたい方は望めそうもない。

しかし、私と子供のために何とか、グループ作りを、と思ったが活動場所も少なく、共同保育になじみがない人が多いことが歯止めになって、なかなか思うように行かない。賛同してくれる人を求めようと、呼びかけをするにもうまくいかず、少々、あせりやあきらめさへも感じていたころ、町の託児付きママさんコースの誘いがあり、即、申し込んだ。学習会では、町の歴史、郷土料理、町長の話など、町に親しむという企画があるので、地元出身でない私にとつては、とても興味深い。町を知ることは、そこに住んでいる人を知ることにつながる。やはり新しいことを始めようとするには、地域のことを考えて、その地域の特色を生かしたものを作りあげることが必要だと思ふ。この地域は転勤族も多く、様々な地方から移り住んでいるが、それなりにグループ作りがプラスになるのではないのか。

そしてグループ活動が軌道に乗ったら、他グループ（特に年配の方）との交流会、地方

地域を造り育てていこう 中野区

引越して大好き人間だった私は、東京へ来てから娘を産むまでの十二年間に十回もの引越しを繰り返して、まさに根なし草。ようやく子供を産む決意をした時、環境や住み易さを考えて、唯一の革新区政中野を選びました。

しかし、本気で地域を意識したのは、娘が毎日遊んでいた都立北江古田公園全域が遊水池（臨時貯水池）計画により、掘り下げられコンクリート化されると知ってから。署名運動に立ちあがり、区議会に陳情。採択されてからも区の説明会に出席したり、少しでも良い方向へとねばりました。その過程の中で、中野区には行政と住民とのパイプ役とも言える住区協議会というのがあることを知り、委員になり、子連れでの会議が月に三回程。区の動きをいち早く知ることができたので、対応も早いというわけです。

私には新潟・山形に実家があり、自然に恵まれています。それはしょせん外食。毎日の日常食・近所の公園から土がうばわれるのを阻止できなかったことを原点に、公園裏の厚生省の所有地をグレイパークとして解放させるべく、運動しているところと準備しています。子供たちのふるさと（地域）を造り育てていくことは、親たちの責務なのです。

わがまま 名所案内

— 京都・大阪編 —

京都・大阪で、元氣印の女たちのスペース・たべどころ・のんびりところを、わがままに案内してみました。



「みみずの学校」

京都市伏見区で高橋 さんというものがくくバツフルなおばちゃんが団地の3DKの自宅で週三回開いている。近所の子供十数名が集まって、今の学校の机上の勉強だけではない、遊びや暮らしの中から学びあえたらいいなという学校で、宿題や予習や一切の強制はない。先生、生徒という枠もなく、いろんな職業や特技を持つ大人たちが講師としてやって来て遊びながら皆で学びあう。

味噌やわらそうりや雑布を作ったり、英会話や朝鮮語を学んだり「人を喰うバナナ」のスライド見たり、「ミミズの性書」で体のしくみを知ったり、農場へ行って稲刈りを手伝ったり、銭湯行ったり、信州へ遊学旅行したり。それはそれはいろんなことがあつて子供より大人がまず入学したい。

何をやる時にも校舎（高橋さんのこと）が先頭切つてするのでなく、子供それぞれが自

分のペースでしている。時には各自のおしゃべりばかりで終わってしまう日があつても決して、せかさたりしない。こういう学校で育つたら、ちよつとやそつとのことでは死なない、本当に生きていく力がつくんじゃないかなと思わせる学校だ。

女のための大工実技教室

インテリア施工や内装を仕事にしていた女たちが、建具を手がけようとした時、大工のことを道具から学ぼうと、講師を招くことにした。女のための大工実技教室の誕生である。学校の家庭科教育をふりかえつてみても、女が大工技術を習う機会も場もないのだ。

現在教室へは、遠くは岐阜や西明石、奈良和歌山からも、はるばる女たちが集まって、毎週木曜日の昼と夜に二十人のメンバーが各々うでをふるっている。

印象に残つたお話……女の社会進出は目覚ましいが、ブルーカラーへの偏見は根強く、それがかえつて、女の職域を狭めている。例えば建築の左官の仕事だけでも三十種類以上はあるし、女もできる仕事はある。からだを動かして汗を流す仕事をやりたい女もいるもんね。男にだけいい仕事をひとり占めさせることはないもんね。今は、趣味の範囲でやっている人を対象にしているが、将来は仕事としてやっていく女たちの学校をつくりたい、と元氣印ばい。二階建て倉庫の一階で実技教室をやり、二階で女性学講座を開いたりしている。女と大工に関する本の貸し出しもあり。

ウィメンズブックスストア松香堂



今や、名実共に名所になりつつある、「ウィメンズブックスストア松香堂」

店内はそう広くはないが、女性問題に関する本がミニコミに至るまで揃っている。「お産サイドブック」も、店長さんの肝入りで売れ行き上々なのだ。

あれこれ迷っていると、店長さんが気軽に相談に応じ、あらゆる女達のグループも紹介してくれる。京都での女達の動きの拠点にもなっているようだ。

中西豊子店長は日本女性学研究会の会員で同会の企画集の一人でもある。また、研究会例会のフェミニズムの論客達が集うシンポジウムの連絡先にもなっている。

最近では、出版も行なっている。

友の会があり、入会すると本の注文に応じ全国に発送してもらえ。二階はフリースペースとして解放し、和室なので、子連れでも気楽に利用できる。

営業時間は、(月)～(金) 10時～5時・(木) 10時～2時 第一土曜 12時～5時 (土)・(日) 祝日は休み。

場所 〒602 京都市上京区下立売通西洞院西入
〒075(441)6905

自然派レストランびお亭



京都オフィス街の中心地にあり、店内に入ると大きな木のテーブルが目に入り、落ち着いた。女性二人が共同で経営しており、その内の正木さんに話を伺う。こういうお店を始めようと思ったのは、今日、働く人達にとって外食とは必然的になっているのに、外食産業の多くは営利目的で、家では安全な物を食べていても、外では安全な物を食べれないという怒りからだそう。

材料は「使い捨て時代を考える会」の調味料と野菜を「山岸会」の平飼いの鶏肉と卵、「ヘルプの会」の無農薬野菜を使い、そしてその鶏や野菜を育ててくれた人達を思い、心を込めて調理しているとのこと。当然合成洗剤は使わず、水は活水器を使っている。店名の「環境保護のbio」「生物学的な」からとったとのこと。食の問題を考えるといろいろなことにつながるが、壁にはびわ湖汚染や指紋捺捺等のポスターがはつてあり、女の問題のバイブ役にもなっている。メニューは日替

り定食七百円、特製カレー、一品料理、ブリ、ヨーグルト等。子供をつれての外食、こういう所なら安心して入れるのではないかしら!!

〒604 京都市中京区三条通東洞院西南角2F
AM11時半～PM2時半 PM5時～8時半
(月)祝休み ☎075(255)0086

レストラン「自立平和」

三年前、障害者の自立を助けた、というオーナーの思いから作られ、現在十三名の従業員中九名が障害者で、ウエイターやウエイトレスとして二交代で働いている。自立して一人で暮らしている人もあれば親の家から通う人もある。

「自立平和」という名前を聞くと一体何が出来るのだろう、と思ってしまうが、店内はグランドピアノも置かれた広々とした造り。テーブルは洋梨子型とでも言おうか角がえぐれた形で長椅子と一人掛椅子がついているので子連れには最適。

ランチタイムは和・洋定食千三百円、その他のランチメニュー八百円でパンかライス、スープ、コーヒー付。味噌汁など家庭的な味で日替りスープ(この日は人参)も他のものも皆しつかりおいしい。

夜は毎日シャンソンなどのライブがあり大人の雰囲気。おまかせディナー四千円からでももちろん単品注文も可。

ミニコミや関係書籍、絵ハガキ、Tシャツなども置いてある。二Fも同じオーナーの経営する「のらくろ」というメンバーズクラブで障害者が働いている。

営業時間 11時半～12時 日・祝日休み

〒530 大阪市北区曽根崎新地1の3の9
☎06(345)8818

悠雅庵(ゆいま)



悠雅庵には色々な顔がある。二千冊を超える、女性史・からだ性と、女性作家の作品等おんなの本が勢揃いの「おんなの図書室」。そして喫茶室。コーヒー、手づくりのジュース、クッキーなどがあり、木造りのカウンターでゆったり本を読むことができる。また、ある時は、市井ギャラリーにもなる。個展等を開きたい人は、作品売上の25%～35%を使用料として払い、展示することが出来る。最後の顔は、仲間会議室。十五～六人の会合ができる。

女たち三人で運営し、「ここから様々な人の輪が広がってゆくように」と映画会・コンサート企画もしている。

漫画もたくさんあるので、子連れでいっても大丈夫。ミニコミ、石けんハミガキなども販売している。

営業時間 10時～8時 (月)休み
〒530 大阪市北区中崎西3の1の10
朝日プラザ梅田東103号
☎06(376)4813

覚えていますか？ チェルノブイリの 原発事故を——その2

あの事故の事を覚えていませんか。「あんふあんて」8月号、川崎市の、さんが書いていた同じタイトルの記事と間いかけを思い出してください。

チェルノブイリの原発事故についても原発そのものについても私達はどれだけのことを知っているのでしょうか。事故の影響については日本は基準以下で安全とか、あのような事故は日本では起こり得ないとか言われているけれど、簡単に信じてよいものでしょうか？国際的規模の報道規制の網の目をくぐって今、マスコミから得にくい情報が伝わってきています。少しでも関心があれば、ミニコミや各地の集会で、あの事故の後のもうひとつのレポートや日本の原発の状況について知ることが出来ます。今回は集会に参加したり、レポートを読んだスタッフの原稿を掲載します。緊急テーマとして当分連載予定。どうしたらよいのか、私達に何が出来るのか、みんなの意見や感想も寄せてください。十月の「土曜あんふあんて」でも、これをテーマに情報交換と話し合いをする予定です。（幾代）

事故はいつ起きるのかわからない。

中野区

チェルノブイリ原発事故の講演会があると聞いた時、講師が広瀬隆だったので、ぜひ聞いてみたいと思い、子供三人引連れてでかけた。三番目の子も一才をむかえ、そろそろ社会参加しなくてはと思っていた矢先だったので、託児所という事もあって気軽に行ってみたのだが講演を聞いているうちに、だんだん後悔し始めた。真相を知ってしまったからには黙っているわけにはいかないという気持ちの高まりの一方で、「またシンドイ問題を抱えこんだな」とささやく声がある。

核戦争だったら、公明正大に反対と声をあ

げられるけれど、原発は電気をつくっているわけだから、全面的に反対するのは？と思っ
ている人が多いのではないだろうか。それほ
ど政府の原子力の平和利用というCMが行き
わたっているわけで、今回の事故のことも
とにかく情報操作がひどい。新聞、テレビの
報道では真実は伝わってこない。それを肝に
命ずるべきだと思う。そして真相を知ること
から始めなければならないと思う。

講演の二部は、チェルノブイリ原発事故後
のヨーロッパの現地レポートがあり、それを
聞けなかったのが、「ベルリンからの手紙」
山本知佳子400円（原発いらない！海と生
命を守るひろば03（815）0672）
を買って読んで、どんなニュースよりもシ
ンキングで悲惨な実状が書かれている。ぜ
ひ読んでほしい。少し抜粋してみよう。

「一、ミルクは飲まない。子供がミルクを必
要とする場合は、粉ミルクを与える。
一、野菜も避ける。とりわけ葉物は危険。
一、水浴しない。
一、地面に直接ふれないようにする（芝生
に寝転んだりしない）。特に子供は、
芝生や砂場で遊ばないように。
一、妊婦、小さな子供はできるだけ屋内に
とどまる」

これは反原発グループや一部の学者らが呼
び掛けていることですが、チェルノブイリか
ら二二〇キロ離れている地域でさえ、こう
いう日常生活を強いられているほど事態は深
刻です。

そして恐らく十年後、二十年後ガンの死亡
率が、異常にふえ、その因果関係はつきとめ
られることはないだろう。

日本で、茨城の東海原発で同様の事故がお
きた場合、日本全土が一二〇〇キロの中にス
ッポリ入りこんでいるので、もはや全滅です。
そして事故はいつ起きるのかわからない。絶

対安全という確信は誰も持たず、なかば実験
的に運転されているのだから、いざ起きた時
にはエネルギーの凄じい暴走はくいとめられ
ずに、爆発、炎上、死の灰は降りそそぐ。死
の灰は核戦争だけの産物ではないのだ。

いつかみたテレビ映画に、核戦争後の死の
灰をあびた一家の生活を描いたドラマがあっ
た。母親は子供が一人、また一人と息絶え
ていくのを見送るだけだった。自分で穴を掘
りそこに子供を埋葬していく。小さな子のた
めに必死の形相で抱いていたマイグルミを捜
し続ける母親。今、その姿が自分に重なって
見える。子供が三人もいる事が、何だか辛い
ものに見える。

原発の恐ろしさを言い続けても、多くの人
にとっては、目前で起こらない限りはピンと
こないし、行動を起す気にもなれないだろう。
まず、マスコミが動いて、一大キャンペーン
でもはらなにかぎりは、チェルノブイリは忘
れ去られてしまう。わたしたちにできること
は、少しでも反原発の運動をジャーナリズム
に載せていくことだと思う。ニュースステー
ションで大きく取上げられたきつまいもの着
色事件のように、日常レベルで、誰の口にも
のぼる話題となるために、まずわたしは動き
だしたい。

何もしないで、
じつとしていられるかな。

朝霞市

九月の「スタッフ会議」にチェルノブイリ
原発事故のことがテーマとして出された。幾
代さんの切々たる思いを軸に「今すぐにも
行動を」と三人目の赤ちゃんを抱えたMさ
ん。「あんふあんて流に、ね。精神主義じゃ
だめよ。具体的に。楽しく」というK子さん。
「ウーン。気持ちは高まるけどシンドソウ」と
Yさん。百の議論より一つの行動を、とばか
り即具体策ということにはなつたけれど、

(つづ)

チェルノブイリの事故も含め、原発について最も解りやすく全国的に入手しやすいものとして、広瀬隆著「東京に原発を！」(440円・集英社文庫)。ミニコミや集会のチラシ類を入手しにくい人は模索舎(ミニコミ専門の書店、新宿御苑のそば。Tel03-352-3557)。家計に余裕のある人は堀江邦夫著「原発ジプシー」(1,500円・現代書館)。

もちろん、スタッフ会議の段階では出席できなかった人を除いて「原発ってそういうものよ、いままさ、しかたないよ」という人は皆無。

終始、はつきりとは発言しなかった二、三人も他の話題に交えて「コトの重大さ」はひしひしと伝わったようだ。でもあまりカンカしてないね。

最年長の幾代さん、確か学生時代はいわゆる六十年安保世代の前期ごろ。しかし私の魅れた限りの彼女は「ハハッ、あのね、マイジャンに夢中だったのよ」という愉快な女性、しかしその後の「あんふぁんて」の胎動期、彼女コンサートからホーキ星、3ポイントからスペース・アウラ等々の幾代さんを見ている私には、どんな女性解放的活動の中にある人の「気持」よりも胸にこたえるものがあった。

先ず、始めの一步として、あんふぁんての会員として「表現を」「発言を」ということで緊急レポート風折込みビラとなったわけ。やる事がまた、増えちゃった。

スタッフ会議での「思い」と私の考えをほとぼりの冷めないうちにまとめてみた。

①「反戦あんふぁんて」の会なんてやってみたら？と呼びかけた私は(確か五半位まえ、やはり選挙の結果、どうも世の中マズイぞと空しさ半分、怒りをぶつけたはずだった)現在の世界情勢を憂えるべきものとして予感してアセッてはいた。しかしあの頃、「国際婦人年——行動する会」のスタート時で、「女たちは戦争への道を許さない——各地の会」が二・三、二・三とできて、私もできたら、という参加の意欲を持ちつつ、従来の男チックな政治、戦略に気分が分らず、あんふぁんてにとどまりつつ、「すべての女解放の活動こそが反戦への道」と自然流に拡散。

②それが(根)をはる前に既に行政、政府は女たちを押し潰そうと「優遇法改正」

——もちろん当時、中心だったスタッフのAさん、Kさん、Bさんが実務、行動を始め、あるイメージの「反対行動」はした。どうしても「仕事」の基盤が欲しい時期とも重なっていたため、時間的に苦しく、軽く動けなかった悔いが残ってしまった。

③さて、今度は？私は即行動へと飛出せない人達をやはり念頭に置いている。会員が減るなんてことは私個人としては心配ではないが、「共同保育」を地域でなんとか——と手をつなぎ始めた二十代から三十代の母親の事を考える。「原発」の恐ろしさと「子供の日常」とつながっていると思っただけとしていられるかなど。

私達にできるのはなんなのかな。

三郷市

この社会から、子供がいなくなるのも、もう遠い話ではなさそう。広瀬隆を知る前と後では、まるで人生観が変わってしまった。今のままでは、つまり、原発が動いている限り、そして放射性廃棄物の安全な永久管理方法が開発されない限り、二十一世紀を健康に迎えられることすら、奇跡に近い。怖すぎて笑いたくなるほどだ。

今の日本では、危険なことは承知だが、原発が無ければ電気が足りなくなるのだから仕方がない、と思わされている人が殆どだろう。が、原発などなくとも、充分間に合うのだ。火力と水力のみで、一七%の余裕電力を生み出せるというのが事実らしい。又、石油がなければ原発は動かせないことも、思い起さなければならぬことだ。石油は、あと三十年で無くなるという。原子力が石油にとって代わる未来などないのだ。原発は、エネルギー危機を解決する為の道具ではなく、投機業者によって仕組まれた世界的な陰謀だったとの発言は、我々を驚かさせる。ほんの一端

の財閥が、その権力を更に大きくするために、その金儲けのために、あらゆる国々を支配し、政治家はそれに協力するというのが、この青い地球のルールらしい。

しかし、なによりもまず私達が知っておかなければならない事は、原発は、たとえ事故が起らないとも、毎日毎日、空にも海にも放射能のちりを流していることだ。一度流れ出た放射能は、減ること無く食物連鎖により、プランクトンから魚へ、魚から水鳥へ、人間へと濃縮されていく。例えば、川の水の放射能を一とすると、プランクトンで二千倍、魚で一万五千倍、水鳥で四万倍、その水鳥の卵は百万倍にまでなっていたとの報告がある。生き物は子孫に最も大切なエキスを譲り渡す生理をもっている。水俣病における胎児性患者がそう。母体にあった時大量の水銀をとりこんだ胎児。放射能も同じなのだ。痛による死亡が多いのも、食品添加物のせいではなさそう。猛毒で知られる青酸カリすら、自然界に入ると分解され、蓄積されることなどない。ところが放射能は、あまりにも寿命が長い。私達人間が使いこなせる代物ではないのだ。例えば、プルトニウム二三九は、百万分の一グラムでも頭痛を引き起こし、その半減期は二万四千年と云う気の遠くなるようなものだ。

そしてまた、再処理工場の存在の怖さは、まるでSFそのものだ。日本にもできるできないでもめている再処理工場が、大爆発を起すと、「致死量の及ぶ範囲は、一万キロを超える。」らしい。地球の一周は四万キロだ。もう私には、地球の未来を考える元気がない。ただ娘たちや夫が、苦しむのを見るのだけはごめんだ。自分が苦しむのも嫌だ。

私達に出来ることはなんなのかな。原発に関してだけは、消極的になってはいけないうと自分に言い聞かせている。

これからの一年

こんなあんふあんでに!!

「来期を考える交流会」報告

九月号でお知らせした来期案アンケートをもとに、八月二十五日池袋で交流会が行なわれました。

暑い中、千葉、東京、埼玉から会員が集まり、おともの子供達が広い和室の一方で元氣よく遊ぶ中「もつと大きな声でお願いしましす」と言いあいつつ話し合いました。

▲「あんふあんで」に何を求めているの? ▲あんふあんで創立時には、自分自身を取りもどすためにがなんでも預け合う必然性があつて加入する会員が多かつたのに比べ、最近はお金でたやすく子供を預けることができるようになり、あんふあんでへも「お産サイドブック」を契機に、一時的に加入しても半年後には退会する会員も多い。そこで原点に戻って考えてみよう!!

▲ひとりになって見えるものもあるよ ▲マイホーム主義が蔓延し、親子でレジャーを楽しむ傾向が強いけど、そんな中で「あんふあんで」では親子でワンセットになつていくな。単に親の自由な時間を作ることの意味が

あるのではなく、「預け合う」人間関係の中で夫を含めいろいろな事が見えてくるんじゃないかしら。家族や家庭が地域に開放されることとお互いを生かす合えるのではないかな。三才までは親が見なければという固定観念があるかも知れないけど、三才が子育てのゴールじゃないんだから、とらわれすぎると苦しいよ。

▲「あんふあんで」の伝えたいこと ▲会報に「あんふあんで」のこれからを考えるコラムが登場します。これは交流会に参加した会員がアンケート内の意見に対する反響として自分の意見を書いたものです。九月号八・九ページを読んで、あなたもこれからの「あんふあんで」を考えて原稿を送って下さいね。

託児付映画会・子供連れお出かけツアー企画グループが交流会で誕生しました。(へいずれも東京近郊)でも誰かが企画してくれるのを待つて一方的にサービスを受けるのではなく、自分のやつてみたい事を積極的に出していくのが「あんふあんで」流だよ。だから地方のあなたも、地元で独自の企画をどんどん出していきませんか!! 少なくとも、参加してもしろかつたら、今度は自分でやつてみようという元気が欲しいなあ!!

映画企画スタッフ 三谷 阿保
伊吹 平本
吉岡 安原
子供連れお出かけスタッフ 伊吹 平本
吉岡 安原
連絡先 (安原)

コラム

調布市

子供を預けたり預かつたりすることって、確かに勇気のいることだと思えます。泣かないでいてくれるかしら? けがをしたりしないかしら? わがままを言つて困らせたりしないかしら? 逆に預かつた場合もやはり神経を使います。

私もまだ二、三回しか預けたことはありません。預かつたことも数えるほど。でも子供って大人が考えている以上に大人だと思えます。母親がずいぶん心配して急いで引き取りに行く、けつこう母親なんてどうでもいいというふうな顔をして遊んでいたり、お母さん以外の別のおばちゃんといふんだ、というよりは小さいながらも理解して、母親という時より自立するのではないのでしょうか。そういう経験を、親も子も新しい空気を吸うことは、とても大切なことだと思います。とにかく密室育児でのメリットなんてゼロに等しい。預けたり預かることが不安なら、まず、子供を抱っこして外に出しましょう。そして少しずつでも外の世界に触れていけば、勇気が出てくると思います。

※上の説明にもあるとおり、今回からぼちぼちコラムを載せていこうと思えます。まだ名前が決つていないので、一応「コラム」にしましたが、何かいい名前をつけて下さい。

交流会に参加して

蔵市

入会してまだ一年未満の会員です。その間私とあんふあんでの関係は、毎月送られてくる情報誌にうなずいたり、エッそんなこともあるんだとビックリしたり、全くのベーパー会員でした。ところが、七・八月号の交流会の記事を読んで、とにかくあんふあんでの会員の人たちが会つてみたいと思ひ立ち、交流会にでかけました。

子供を預けて自分の時間をつくることに抵抗があるというアンケート回答が約半数あるという結果には、私も驚きました。あんふあんでが出来てから十年の歳月が流れ、人々の考え方も変化が生じたのだとは思いますが、古い会員には少し納得のいかない事で、十年の歩みをこれからまとめていってみたいとまた考えることになりました。これは、たいへん興味深いと思いました。

また、企画に関してもいろいろとおもしろいものが出ましたが、会員それぞれが普段思っていることを、意見として提案し、それがそのまま来期案へ反映されていくなんて、とても感動しました。

今回はじめて交流会に出席して、それぞれの人が自分の意見を持つて発言している姿に驚きとあせりを感じました。これからはいろいろな企画も増えるようなので、できるだけ参加して、私もあんふあんでしようと思ひました。

江戸川区

昨年の十一月に入会して以来、あんふあんでの行事に参加したのは今回が初めてでした。結婚してから、話し合いといえれば小人数でしかしたことのなかつた私は、すっかり頭の回転が鈍くなり、「この人はそう思うかもしれないけれどそれは自分の都合だけを言っているのであつて、あんふあんでの他の会員のことももつと考えた方がよいのではないかしら!!」などと思つていたら、発言しないうちにいつの間にか会が終つてしまふというありさまになりました。

子どもが十才の人も
赤ちゃんを抱えた人も
一緒にやっていきたい!!

十年前私たちは、子供を預け合つて、自分の時間を創り出すこと、共同保育で子供達、女達のイキイキとした時間・空間を創り出すことを提案し、実行に移すとともに、社会へ向けて女達・子供達の要望を出すことを始めました。公民館に託児室がない、新幹線にベビーコナーを……と。社会が私たち子育て中の女性を締め出して、いることに怒り、「どうせ言つてもわかつてもらえない!!」・「今だけ我慢すればいいんだから」と諦めるのはやめよう、何事も可能性を信じて始めてみよう、行動を開始したのです。しかしここで、私たち自身も他を締め出すようなことがないか、考えてみませんか。例えば、グループに外部の人から問い合わせがあつた時、子供の年齢が合わないからとか、保育のローテーションが狂うからとか、

さまでした。

感想はといえば、スタッフの人が中心となつて発言していたようですが、これは仕方がないことかもしれないですね。それと、グループに属していない人の参加が少なかつたようです。

でも、全体的にはしばらくぶりにやる気のある前向きの人達に会えてよかつたと思ひます。グループの会員募集に少々疲れぎみの私にはよい刺激になりました。これからも私なりに頑張つていこうと思つています。

もう人数がいっぱいだからとか一言で断つてしまふようなことはしないでしょか。何もかも一箇所で受け入れるのが無理なのは当然です。けれど、ここではダメだけど、あつちはどうとか、こんなふうにしてみたらとか、それでもどうしていいかわからない時は一緒に悩んでしまふとか……とにかく子供を持つ女性が互いに何らかのコミュニケーションなしで、相手を閉め出すようなことはしたくないものです。

個人の場合も同じですよ。私は働いているから働いていないあなたとは一緒に動いていけない、話が合わない。うちの子はもう学校にいつているから赤ちゃんのいるあなたとはテンポが違う……。いろいろな理由で閉ざしてしまふ部分がありませんか。可能性を秘めているのは子供だけではありません。私自身、あなた自身の可能性をも信じて、いろいろな人たちと一緒にやつていける部分をもつと探つていきませんか。(大山)

情報コーナー

★大田区・池上に来てみてね！

の三人が中心になり、あふふあふのメンバー、友人・知人が一口三千円（二年後に無利子返却）という会費を払って応援してくれるという形で、池上にNAC（ナック）という事務所が出来ました。南部生協の裏です。ネーミングのワケは、NがNEO・NATURAL・NEW・でAがAUNTでCがCOLLECTIVE・COUNTRYというように意味で、こじつけみたいなもんです。美枝子は長年編集の仕事をしてきました。佳江子は福祉工場（コピー印刷）で働いています。桂子は編集とコピーも書きます。そして三人とも子育て真最中です。今回、応援してくれた人達もだいたいそんな人達です。現在、美枝子さんが常駐し、フリーとして編集の仕事をごなしながら、事務局をしています。当面の目標としては、家庭にいる女達に仕事をまわしていくパイプ役になること。地域の情報伝達所になることなどです。婦人問題関係の本も取り揃えましたので、近くにお寄りの節は是非お寄り下さい。大田区池上駅南口生協ウラ。同じスペース内で他のグループの人達によるミニFM局も開かれます。

☆会員受付中

☆仕事・情報ください。場所を貸します。不用品下さい（婦人問題関係の本等）

連絡先

NAC

★グループづくりませんか。

八カ月の子がいます。一日中子どもと二人きりで過して多少イライラ気味です。週一回でも悩みを話し合ったり、子どもを遊ばせたり、欲をいえば預け合ったりというふうな気のおけないグループをつくりたいと思います。連絡ください。待っています。

★仲間になってください。

私の住む小平には児童館が一つもありません。しかし、自然に恵まれた小金井公園があります。どなたかいっしょに、たんとお日様のあたたかき子どもを育てませんか？

★長谷川きよしコンサート

日時 10月11日（土）午後6時から
場所 品川公会堂 入場料 二千円
主催は「ハンディキャップを持つ人も地域の一員として、あたたかな人間関係の中で、安心して、そして豊かな暮らしを営んでいきたい」という夢を実現させるため、品川の西大井地区で活動しているなまの会。「なまの会」を中心に、古紙回収・物品販売・映画会・なまの会・ニュースの発行などを行ない、近くなまの会のパン屋もオープン予定。

なまの会

★実践的女性学講座

フェミニズム・日本の運動のこれから
問題提起・上野千鶴子
日時 10月19日（日）午後1時30分～6時
場所 渋谷労働福祉会館（渋谷駅下車）
主催 行動する女たちの会

★東京都東部及び千葉県にお住まいの方、特にグループに入っていない方、たまには会って話ませんか？

日時 10月21日（火）午前10時30分～

場所 行船公園内の自然動物園入口
（江戸川区北葛西3の2の1）

ⓧ 地下鉄東西線西葛西駅より徒歩15分
又は都営バス（新小岩・亀戸行）宇喜田下車。

※ お弁当持参・小雨決行

連絡先



★有名になりたい方！

——最近の情報誌はつまらなくなったと情報誌八月号上段うしろ三行には、全く同感です。ウダウダ考えていないで、パッとストリートファッションしてみませんか。当方、只今『大道芸』を勉強中。三十六才でゴザイマスヨ！！有名になること請け合ひ。やってみたい方、連絡ください。

★一緒に飲みに行きましょう！

五月号で紹介された中野の「じんじん」に、一緒に飲みに行く人募集。どんな出会いがあるか、それは来てのお楽しみ。連絡ください。
日時 10月18日（出）6時より
会費 実費
場所 中野「じんじん」中野北口下車五分
ブロードウェイ入口からすぐ。

連絡先

★10月26日（日）は反原子力の日

「原発とめよう！東京行動」は日比谷公園の小ホールで。子どもデモなども計画中です。詳細は☎（402）3244婦人民主クラブ。京都では「京都反原発めだかの学校」の市民運動があります。参加して考えてみて。また、市内の主婦らが「原発やめて」の絵はがきを作っています。3枚セット200円。

★託児付映画会いよいよ決定！

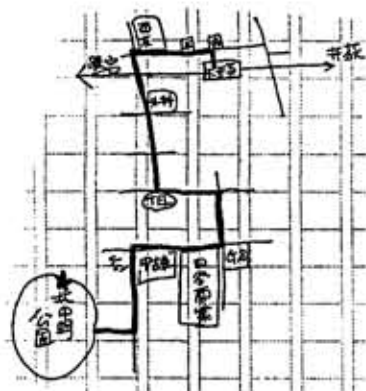
やっとなあたも映画にいけますよ！
「赤ちゃんに乾杯！」
新宿文化シネマ 11時10分～1時5分
託児場所 中野区婦人会館 保育室
10時婦人会館前集合
映画代（自分持ち） お昼代三百円
日時 10月18日（出）10時～12時半
映画の終了後、感想や託児についてなど、話し合いたいと思います。今回の託児は、企画したスタッフが担当しますが、次回からは参加者同志が交代で託児できればと思います。参加希望者は事務局へ問い合わせてください。映画会スタッフ（平本・阿保・伊吹・三谷）

★どろんこKidバザー

子供服、おもちゃ、くつ、雑貨、マタニティ等。〇円～三百円位。運営資金として遊具などに活用します。不用の物がありましたら、ぜひ寄付して下さい。十月末までに。

☎

日時 11月8日（雨天15日）11時～12時
場所 北中野公園（西武新宿線下井草10分
西武池袋線富士見台15分）



映画コーナー

「赤ちゃんに乾杯！」

独身貴族の男三人の共同生活に六カ月の赤ちゃんが飛込んでくる。初めは抱き方もわからずテンヤワナンやるが、やがて赤ちゃんなしでは寂しくて生きていけないとなると話。これはぜひ子供を置いて夫婦で見るべきです。育児に疲れ気味の二人でも「そうさ、うちの子もこんなに可愛かったんだ」と再認識できるでしょう。（たまに二人きりになった時くらい子供のこと忘れたいという気もするけれど……）

フランスではこの映画がヒットして「男にも母性愛はあるか」という論争が起こったというけれど、赤ちゃんに対する愛情というのはひ弱な一人では生きていけない生き物に対する愛情が一緒に暮らすうちにだんだん大きくなっていくものじゃないかな。母親だから細々と面倒を見て、父親だから大所大局から教育するのだ、なんていうのは単に役割意識にこり固まっているだけのことじゃない？この映画でもモデルをしている母親は、仕事をすればするほど保母の費用がかさんでやっつけられない、と泣きついてくるけれど、ホント、母親一人で抱え込んでいてもやっつけられない。その点、母が三人もいて、各自が仕事をもち自分の生活を持ち、なら理想的ヨと昔はリブの闘士と言われたコリーヌ・セロ監督が男達にやさしく微笑んでいるような映画でした。（吉岡）

事務局から

★「あんふあんて札幌」が解散しました。今後は同じ札幌市内で活動していた「ばあぶる」のメンバーが新生「あんふあんて札幌」として活動します。連絡先は左記の通り。

★今月号は臨時に折り込みページがあります。ぬけていた方は至急連絡を下さい。



スケジュールメモ

10月15日(休) 切手貼り (事務局)
10月22日(休) 平日あんふあんて (事務局)
10月25日(出) 土曜あんふあんて (幾代宅)
11月10日(月) 十月号発送・スタッフ会議
★今回の折り込みページ、いかがでしたか。今まで原稿のことなど考えていなかったという方も、どんどん卒直な意見を聞かせてほしいと思います。原稿はいつでも募集中です。コラムへの反響なども待っています。

編集メンバーから(京都グループ)

●字数を揃えて紙面を作るというのがこれほど大変とは……。原稿用紙を前にコピーとおせんべいは完全消化、原稿未消化、寝不足のみ残る日々でした。もうあとは打ち上げあるのみ、さあ、みんなで繰り出そうぜ!! (吉岡)
●メンバーのみんなが、テキパキとかたづけしていくのを、側で「ワアすごい」と思っています。でも文を作るって大変なことなんだなあと感心しきりの毎日でした。(木村)
●ちょっと遅れてるし、「できた」かな。もう団地の階段、登らへん/自転車にも乗らへん/仕事も休む/と、編集中大さわざ。地域のほとんどの人に、「できた」と言ってしまった矢先……あ、ゴメン、遅れてただけやっただけでもまた、来月さわざそう。(阪上)
●女性たちの地域活動になぜか割りこむヒゲだらけのいっちょかみおじさん。日本は体制依存の情報管理社会、教育機関も個人の創造性を伸ばすことよりも日本企業への献身を一方的におしつけようとしている。自分自身をしつかり見つめ地道な行動の継続こそ必要。(青野)
●新人類になぜか割りこむいっちょかみおばさん。内容はおまかせするわと浮かれていたら、最後の作業をどつと背負わされてしまった。ひさびさに頭の体操にはなりました。前記のおじさん、産後の妻に代わり、マジメーにいっちょかんでくれました。(児玉)

事務局まじの地図

☆当会について詳細を知りたい場合、封書にて、郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記し切手四百円分(なるべく少額切手で)を送って下さい。宛先は表紙上段に記載。
☆入会希望の場合は、なるべく六カ月(二千四百円)以上まとめて郵便局の振替口座で払い込みを。口座番号は表紙上段に記載。なおTELもお忘れなく。
☆事務局の電話受付は原則として月/金曜の1時から3時半です。御協力を。
☆会費の振り込みを忘れていらっしゃる方は至急振り込みを/休会、退会も必ず連絡をください。